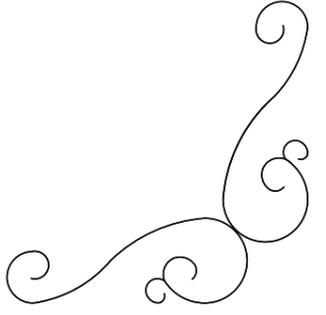
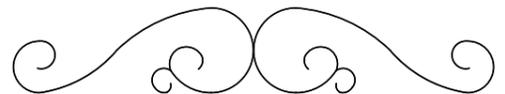
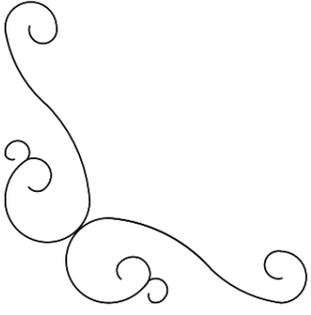
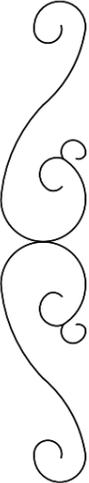
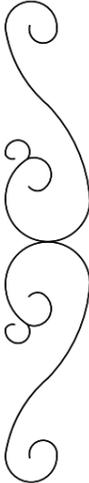
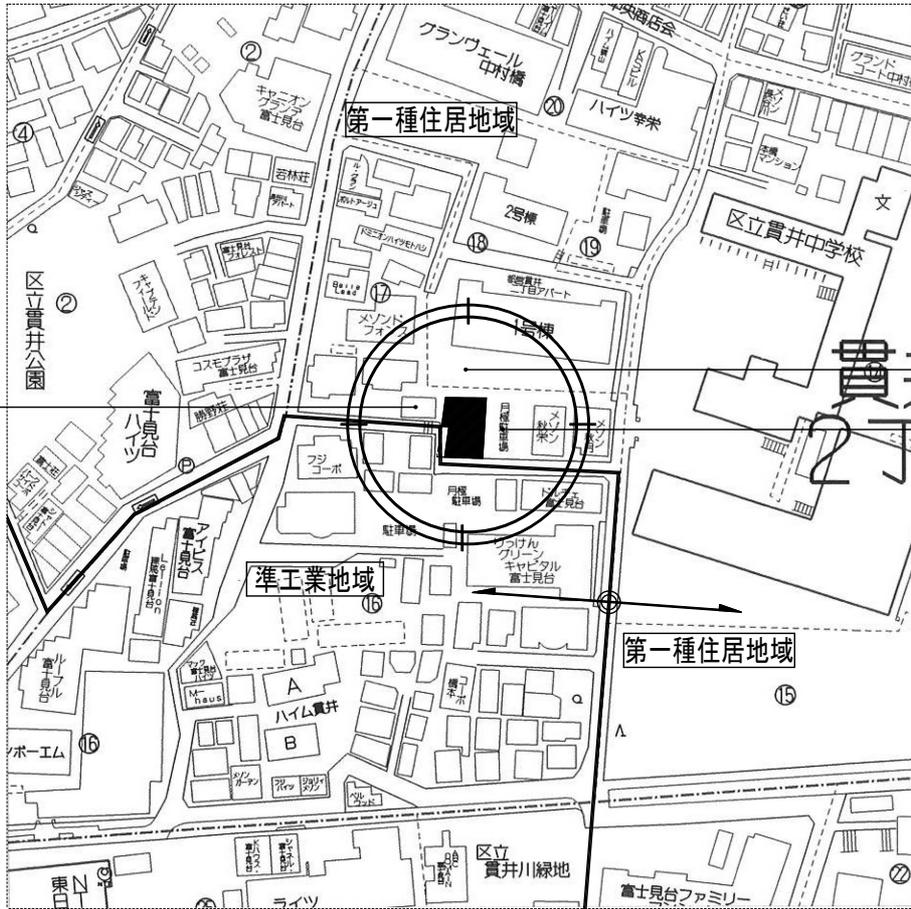


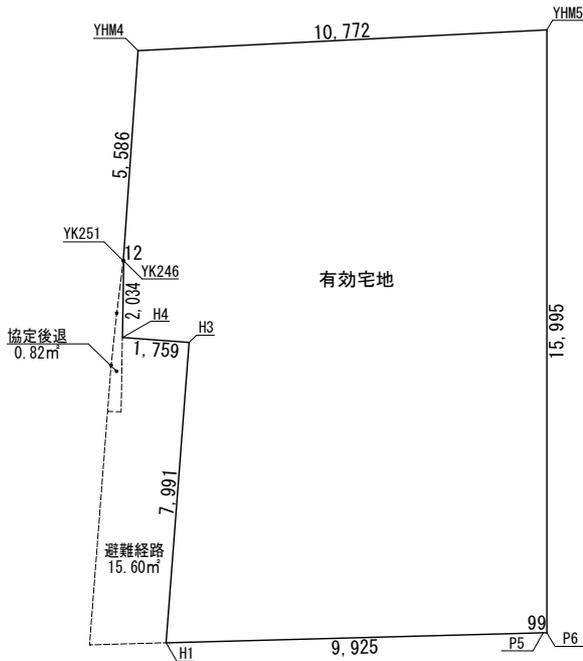
スマイルファミリー
練馬区貫井2丁目
新築工事





東京都練馬区貫井二丁目948番4の一部
 (住居表示 東京都練馬区貫井2丁目17番(以下未定))

付 近 見 取 図

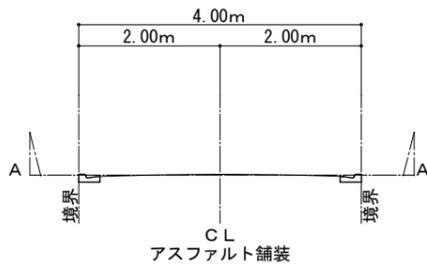


有効宅地部分 座標求積表

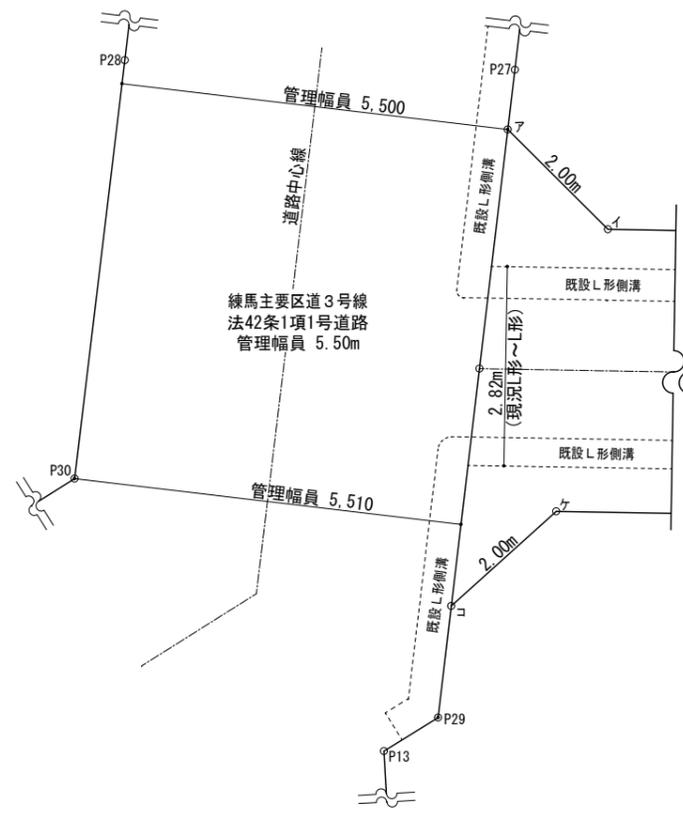
座標点	X_n	Y_n	$X_n \cdot (Y_{n+1} - Y_{n-1})$
YHM4	214.863	207.335	2728.330374
YHM5	210.750	217.291	653.114250
P6	196.299	210.434	-1363.689153
P5	196.341	210.344	-1800.054288
H1	200.353	201.266	-1024.605242
H3	207.292	205.230	504.963312
H4	208.165	203.702	-130.311290
YK246	209.989	204.604	187.100199
YK251	209.994	204.593	573.493614
倍面積			328.341776
面積			164.170888

敷地面積 164.17 m²

敷地求積図 1/200



A-A' 断面図 S: 1/100

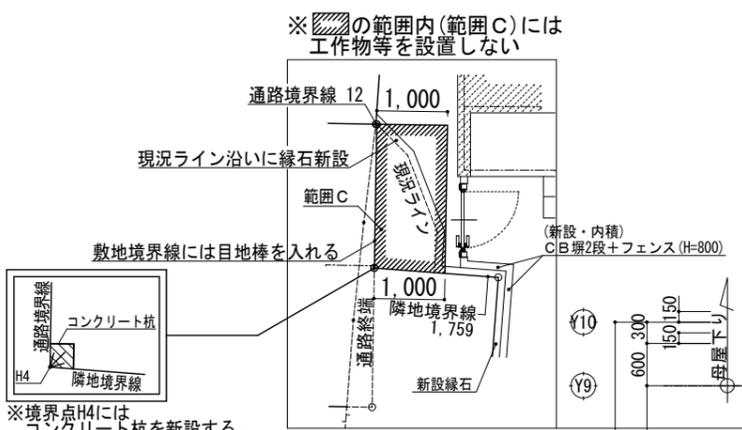


高度斜線 : a	樋先高	6,080-(900+150+100)x0.60+120= 5,510
	斜線制限	5,000+(495x1.25)= 5,618
*OK		
高度斜線 : b	屋根高	6,080+2,400x0.30+150= 6,950
	斜線制限	5,000+(3,985x1.25)= 9,981
*OK		
高度斜線 : c	棟高	6,080+150= 6,230
	斜線制限	5,000+(1,465x1.25)= 6,831
*OK		

高度斜線 : d	樋先高	6,080-(600+150+100)x0.60+120= 5,690
	斜線制限	5,000+(605x1.25)= 5,756
*OK		
通路斜線 : A	樋先高	6,080-(150+100)x0.30+120= 6,125
	斜線制限	5,000x1.25= 6,250
*OK		

※樋の出: 100
 ※屋根の厚み: 120
 ※棟の厚み: 150

- <許可条件>
- ・隣地境界線から建築物までの保有距離は、有効500mm以上とすること。
 - ・通路後退位置をコンクリート杭等で明示すること。
 - ・新たに塀等を設置する場合は、通路境界線を越えて設置しないこと。
 - ・様式3-2中、範囲Aについては、現状の通路形態および舗装を維持すること。範囲Bについては、Aと合わせて919番18の筆界から幅員2mとなる避難経路を築造し、完了検査までにアスファルト舗装等とすること。
 - ・様式3-2中、緑石新設範囲については、完了検査までに隣地境界線に沿って緑石等を設置すること。
 - ・様式3-2中、L形側溝新設範囲については、完了検査までに隣地境界線に沿ってL形側溝を設置すること。
 - ・様式3-2中、範囲Cについては、工作物等を設置しないこと。
 - ・配置図に記載の外構等以外は設置しないこと。
 - ・完了検査までに当該敷地と一筆になっている協定通路部分、避難通路および建築基準法外通路部分については分筆すること。



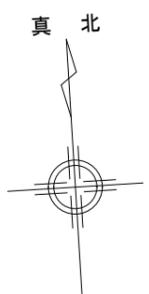
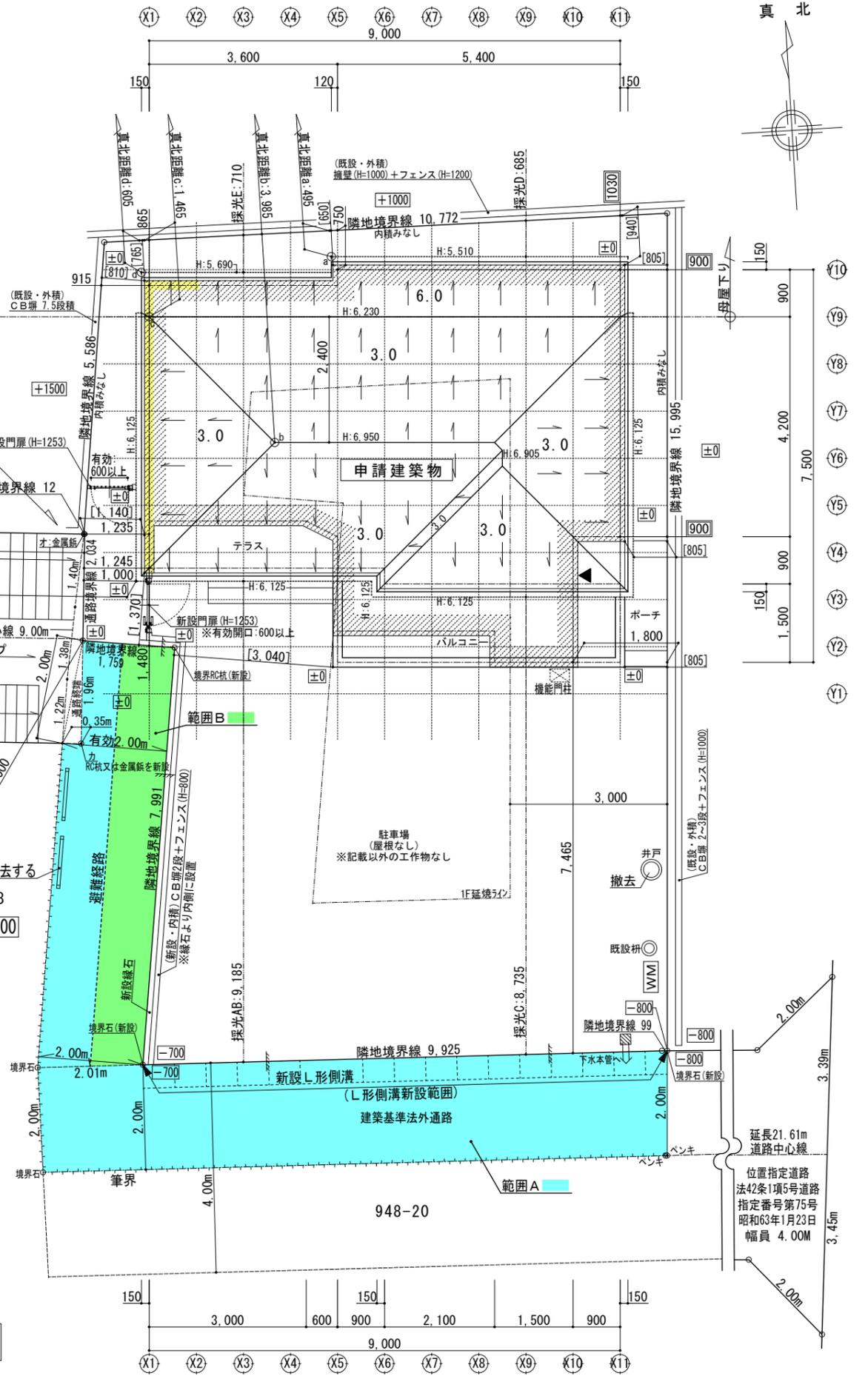
高基礎範囲

申請建築物
 最高の軒高: 6,080
 最高の高さ: 6,950

○ コンクリート杭、鉄、石杭を示す
 樋勾を示す
 ← 最終塀

※雨水と汚水合流箇所には防臭トフを設置する
 ※2階の延焼ラインは敷地全範囲
 ※(±0.00)は設計GLから見た地盤面の高さを示す
 ※宅内コンクリートロッキは施行令62条の8に適合
 ※設計GL=±0
 ※地盤面算定式
 ±0 / (建物周長) = ±0
 ※[]は有効寸法を示す
 ※盛土規制法に該当する盛土・切土はなし

配置図 1/100



株式会社
雅style
 miyabi 一級建築士事務所

〒177-0034
 東京都練馬区富士見台2-18-16 2F
 一級建築士第312554号 佐野 雅哉

設計年月日
確定図面
 令和6年10月29日

承認
 雅

設計

工事名称
スマイルファミリー 練馬区貫井2丁目 新築工事

図面名称
配置図

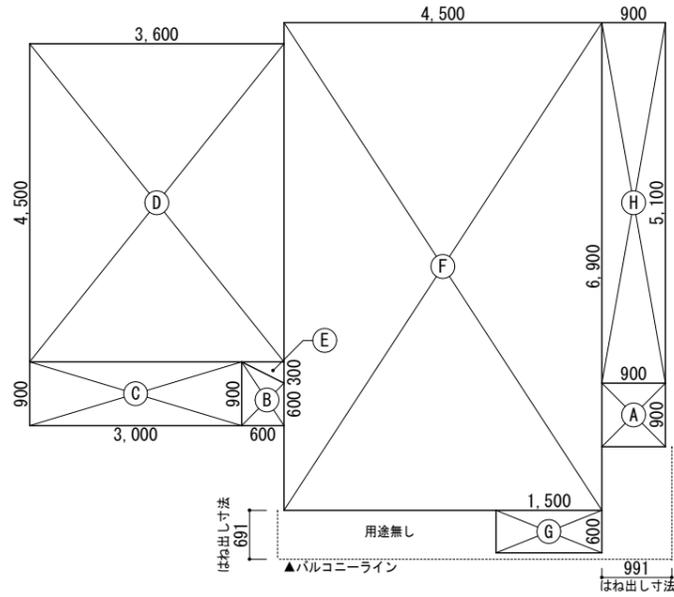
縮尺
 1/100

No.

建築面積算定式		
記号	算定式	面積
(A)	0.900×0.900	0.810
(B)	(0.600+0.900)×0.600/2	0.450
(C)	3.000×0.900	2.700
(D)	3.600×4.500	16.200
(E)	0.600×0.300/2	0.090
(F)	4.500×6.900	31.050
(G)	1.500×0.600	0.900
(H)	0.900×5.100	4.590
合計		56.790 m ²

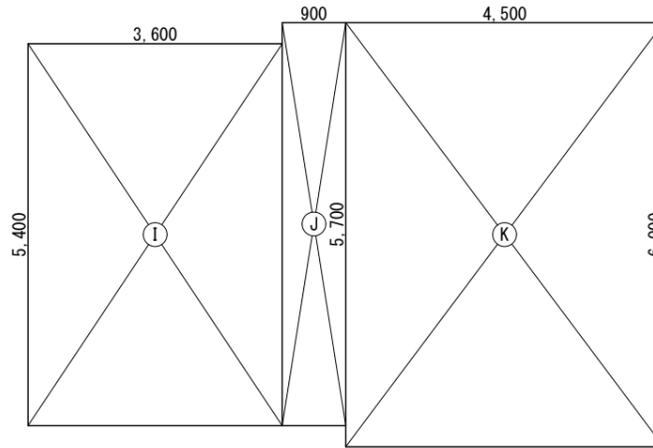
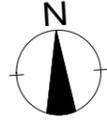
1階床面積算定式		
記号	算定式	面積
(D)	3.600×4.500	16.200
(E)	0.600×0.300/2	0.090
(F)	4.500×6.900	31.050
(G)	1.500×0.600	0.900
(H)	0.900×5.100	4.590
合計		52.830 m ²

2階床面積算定式		
記号	算定式	面積
(I)	3.600×5.400	19.440
(J)	0.900×5.700	5.130
(K)	4.500×6.000	27.000
合計		51.570 m ²



建築面積兼1階求積図 1/100

ポーチ：(A)、テラス：(B)(C)



2階求積図 1/100

換気計算

住宅容積：
1階床面積 X 1階天井高 + 2階床面積 X 2階天井高
52.83 X 2.400 + 51.57 X 2.400 = 250.560 m³
0.5 X 250.560 = 125.280 m³ ∴126.00m³

給気口数					
室名	面積	天井高	必要換気回数	給気風量	給気口個数
LDK	34.20m ²	2.400m	0.5	-	1
MBR	13.05m ²	2.400m	0.5	-	1
BR1	8.80m ²	2.400m	0.5	-	1
BR2	8.80m ²	2.400m	0.5	-	1
BR3	8.80m ²	2.400m	0.5	-	1
合計					5

排気ファン数
排気ファンの風量：43m³/h x 2 + 60m³/h x 1 ∴ 146m³/h
最終排気ファン数： 3個
追加排気ファン数： 総合排気風量 ≥ 必要機械換気風量 ∴ 追加個数
146 ≥ 126 ∴ 0個
*換気回数 n = 0.58

※10mm以上のアンダーカット
※シックハウス換気扇スイッチに『常時換気』の表示をする
※クロルピリホスを含む材料を使用しない
※建築材料：JIS/JAS認定品、F☆☆☆☆を使用する

面積表

敷地面積	164.17m ²	49.66 T	
建築面積	56.79m ²	17.17 T	(A) ~ (H)
1階床面積	52.83m ²	15.98 T	(D) ~ (H)
2階床面積	51.57m ²	15.59 T	(I) ~ (K)
駐車場床面積	0.00m ²	0.00 T	
延床面積	104.40m ²	31.58 T	(D) ~ (K)
容積率対象延床面積	104.40m ²	31.58 T	(D) ~ (K)
有効延床面積	104.40m ²	31.58 T	(D) ~ (K)
建蔽率	指定 60.00 %		建物 34.60 %
容積率	指定 160.00 %		建物 63.60 %

凡例

	管柱：105×105
	外壁：特記ない場合は構造用合板 t=9(使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) 外壁：構造用合板 t=9(使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) + 筋違い 45×90 内壁：筋違い 45×90
	外壁：構造用合板 t=9(使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) + 筋違い45×90(タスキ掛) 内壁：筋違い 45×90(タスキ掛)
	構造用合板 t=9(使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) 片面貼り
	構造用合板 t=9(使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) 両面貼り 【外壁：大壁】 【内壁：真壁床勝ち】
	火災警報器(検定品)・煙感知器(キッチンのみ熱感知器)(電池式) ※天井設置の場合壁または梁から0.6m以上離れた位置に設置する ※壁面設置の場合天井から150mm~500mmの間に設置する ※換気口等の吹き出し口から1.5m以上離す
	居室等の給気口：100φSVC付(防虫網付・防塵対策) キッチンの給気口：150φFD付(防虫網付・防塵対策) 給気口高さ：FL+2,000mmとする
	換気扇：令20条の3、第2項による換気設備 24H換気φ100 S V C付(U B換気扇は逆流装置内蔵品を使用) ※換気ダクトVP100φ ■換気計算量 3口コロ・ケリシロコファン150φFD付[I型] 風量420 v=30KQ3 30×0.93×10.1=281.79<420 ∴OK ダクト材：スパイラルダクト(亜鉛鋼板厚0.5mm以上)セラカバー-S@20mm巻
	給湯器 ※給湯機は告示に適合する設置方法とする ※地盤面より1m以内には防腐、防蟻措置をすること ※雨水排水にはトラップを設置する ※令46条4項検討済み ※FDは告示仕様適合品とする
その他	

用途地域等

国土交通大臣認定品(防火設備) サツ：複層障子網入ガラス 玄関ドア：住宅防火戸仕様 排煙設備：スベリダシ等は45度以上の開口	外壁の全開口
延焼の恐れのある部分(全外壁) 外壁：屋外側=サイディング貼+構造用合板9mm+断熱材グラスウール [PC030BE-9201] 外壁：屋内側=石膏ボード(t=12.5mm) [NM-8619] 軒裏：繊維混入セメント板張 [QF03ORS-0154同等品] 屋根：繊維混入セメント板葺 [NM-2093]	延焼の恐れのある部分(全外壁)
床：構造用合板(t=24)下地 フローリング(t=12)貼 壁：石膏ボード(t=12.5)下地 ビニルクロス貼(QM-9405同等品) 天井：石膏ボード(t=9.5)下地 ビニルクロス貼(QM-9405同等品) ※屋内側防火被覆については小屋裏、屋根面まで達するものとする	主要な内部仕上げ
天井/壁：バスマット 鋼板	浴室
野地板：構造用合板 12mm以上 下地：珪酸カルシウム板 12mm NM-8578 仕上：FRP防水 DR-1553 手摺高さ：H1100mm以上	バルコニー
給排水・ガス点検はキチネットを外して行う コンロ廻り：キッチンバネ(不燃認定番号NM-0261同等品) ダクト：換気鋼板製ダクトスパイラル セラカバー-S 20mm巻き 可燃器具は可燃物より150mm以上離隔する コンロ廻りは東京都火災予防条例通りに施工する ※ガスコンロ上部に排気フード(不燃材)を設置する ※火気使用室内の内装は準不燃材料以上のものを使用する 手摺設置(出幅100mm以内) 有効幅：770mm	キッチン
踏面：3段廻り188mm 4段廻り150mm以上 ※廻り段の踏面寸法は狭い方から30cmの位置にて測定 1F-2F:踏面 225.00mm/蹴上 202.78mm	階段
べた基礎	基礎

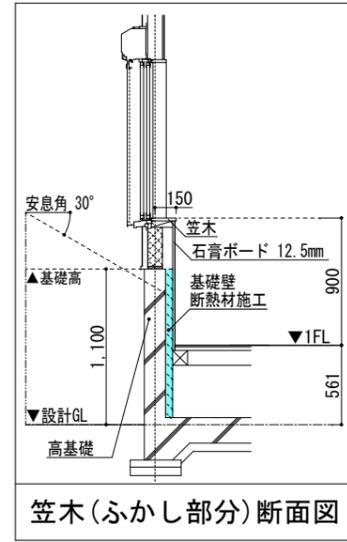
《排煙》		《採光》		《換気》	
LDK 必要排煙面積 34.20 / 50 = 0.684 有効排煙面積 0.40 X 1.60 X 1/2 = 0.320 0.40 X 1.60 X 1/2 = 0.320 0.40 X 0.36 = 0.144 0.320 + 0.320 + 0.144 = 0.784 ∴ OK	LDK 必要採光面積 34.20 / 7 = 4.885 有効採光面積 1.60 X 2.00 X 3.00 X 0.7 = 6.720 (採光A) ∴ OK	LDK 必要換気面積 34.20 / 20 = 1.710 有効換気面積 1.60 X 2.00 X 1/2 = 1.600 1.60 X 1.10 X 1/2 = 0.880 1.600 + 0.880 = 2.480 ∴ OK	MBR 必要排煙面積 13.05 / 50 = 0.261 有効排煙面積 0.46 X 1.60 X 1/2 = 0.368 ∴ OK	MBR 必要採光面積 13.05 / 7 = 1.864 有効採光面積 1.60 X 1.80 X 3.00 = 8.640 (採光C) ∴ OK	MBR 必要換気面積 13.05 / 20 = 0.652 有効換気面積 1.60 X 1.80 X 1/2 = 1.440 ∴ OK
BR1 必要排煙面積 8.80 / 50 = 0.176 有効排煙面積 0.40 X 1.60 X 1/2 = 0.320 ∴ OK	BR1 必要採光面積 8.80 / 7 = 1.257 有効採光面積 1.60 X 0.90 X 3.00 = 4.320 (採光E) ∴ OK	BR1 必要換気面積 8.80 / 20 = 0.440 有効換気面積 1.60 X 0.90 X 1/2 = 0.720 ∴ OK	BR2 必要排煙面積 8.80 / 50 = 0.176 有効排煙面積 0.40 X 1.60 X 1/2 = 0.320 ∴ OK	BR2 必要採光面積 8.80 / 7 = 1.257 有効採光面積 1.60 X 0.90 X 3.00 = 4.320 (採光B) ∴ OK	BR2 必要換気面積 8.80 / 20 = 0.440 有効換気面積 1.60 X 0.90 X 1/2 = 0.720 ∴ OK
BR3 必要排煙面積 8.80 / 50 = 0.176 有効排煙面積 0.40 X 0.60 = 0.240 ∴ OK	BR3 必要採光面積 8.80 / 7 = 1.257 有効採光面積 1.60 X 0.70 X 3.00 = 3.360 (採光D) ∴ OK	BR3 必要換気面積 8.80 / 20 = 0.440 有効換気面積 1.60 X 0.70 X 1/2 = 0.560 ∴ OK			

株式会社 株式会社 株式会社
雅style
miyabi 一級建築士事務所
〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-18-16 2F
一級建築士第312554号 佐野 雅哉

設計年月日
確定図面
令和6年10月29日

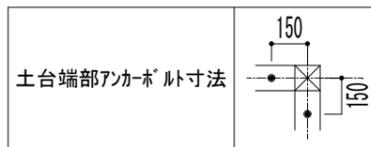
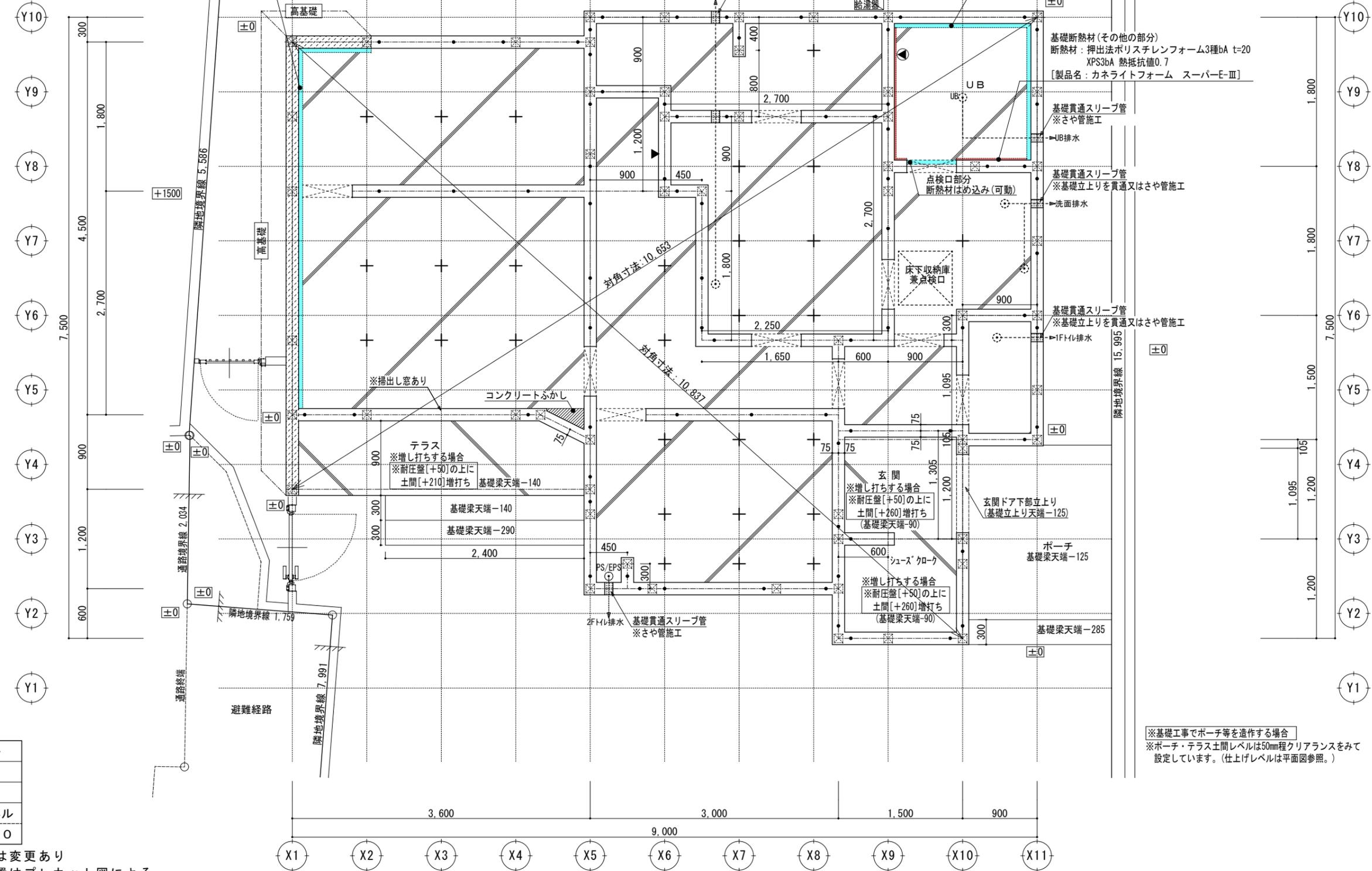
承認 雅 設計

工事名称
スマイルファミリー 練馬区貫井2丁目 新築工事
図面名称
面積表・凡例
縮尺
1/100



笠木(ふかし部分)断面図

基礎断熱材(外気に接する部分)
断熱材: XPS3bA 押出法ポリスチレンフォーム3種bA t=50
熱抵抗値1.7 [製品名: カネライトフォーム スーパーE-III]



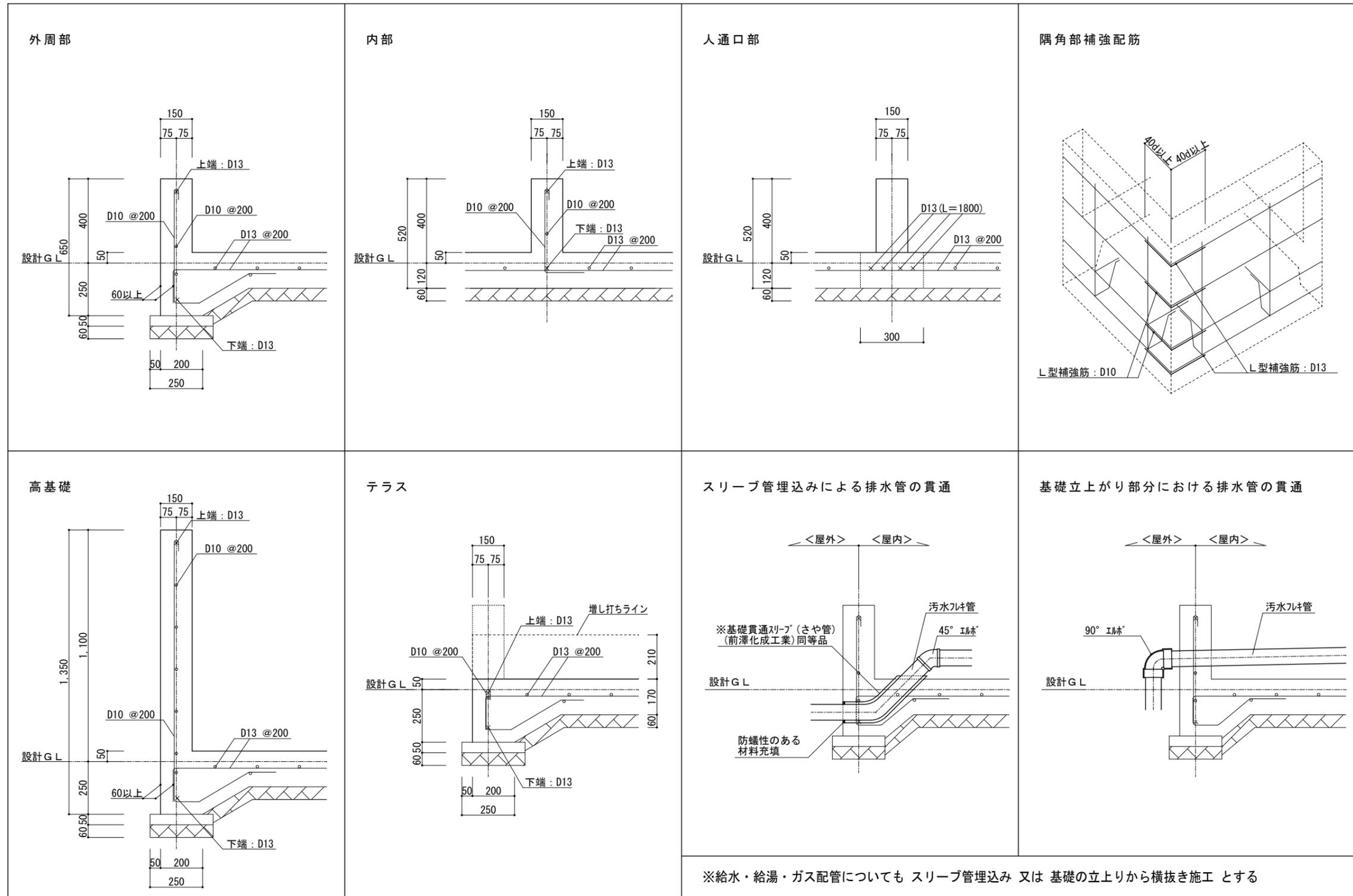
基礎伏図凡例

●	基礎土台緊結用アンカーボルト
□	人通路 W=600
←	排水経路
⊕	設計GLからの耐圧盤レベル
□	特記なき場合はGL+50

- * アンカーボルトの位置、本数は変更あり
- * 土台継手のアンカーボルト位置はプレカット図による
- * 金物関係は金物図・プレカット図による

※基礎工事でポーチ等を造作する場合
※ポーチ・テラス土間レベルは50mm程クリアランスをみて
設定しています。(仕上げレベルは平面図参照。)

基礎伏図 1 / 50



※給水・給湯・ガス配管についても スリーブ管埋込み 又は 基礎の上立りから横抜き施工 とする

基礎断面図 1 / 20

BR 1 平均天井算定計算

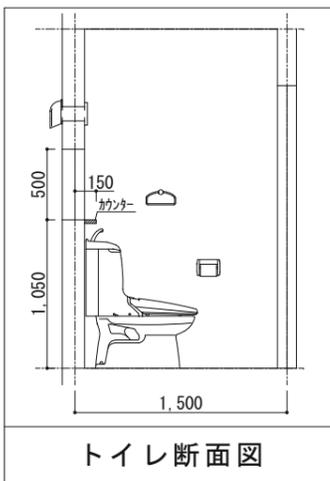
- $(2.100+2.400) \times 0.600 \div 2 = 1.350$
 $1.350 \times 2.925 = 3.948$
- $2.400 \times 2.925 \times 2.100 = 14.742$
- $2.400 \times 0.675 \times 1.350 = 2.187$

1~3) 計=20.877
20.877 / 8.80 = 2.372
∴ 平均CH 2.372

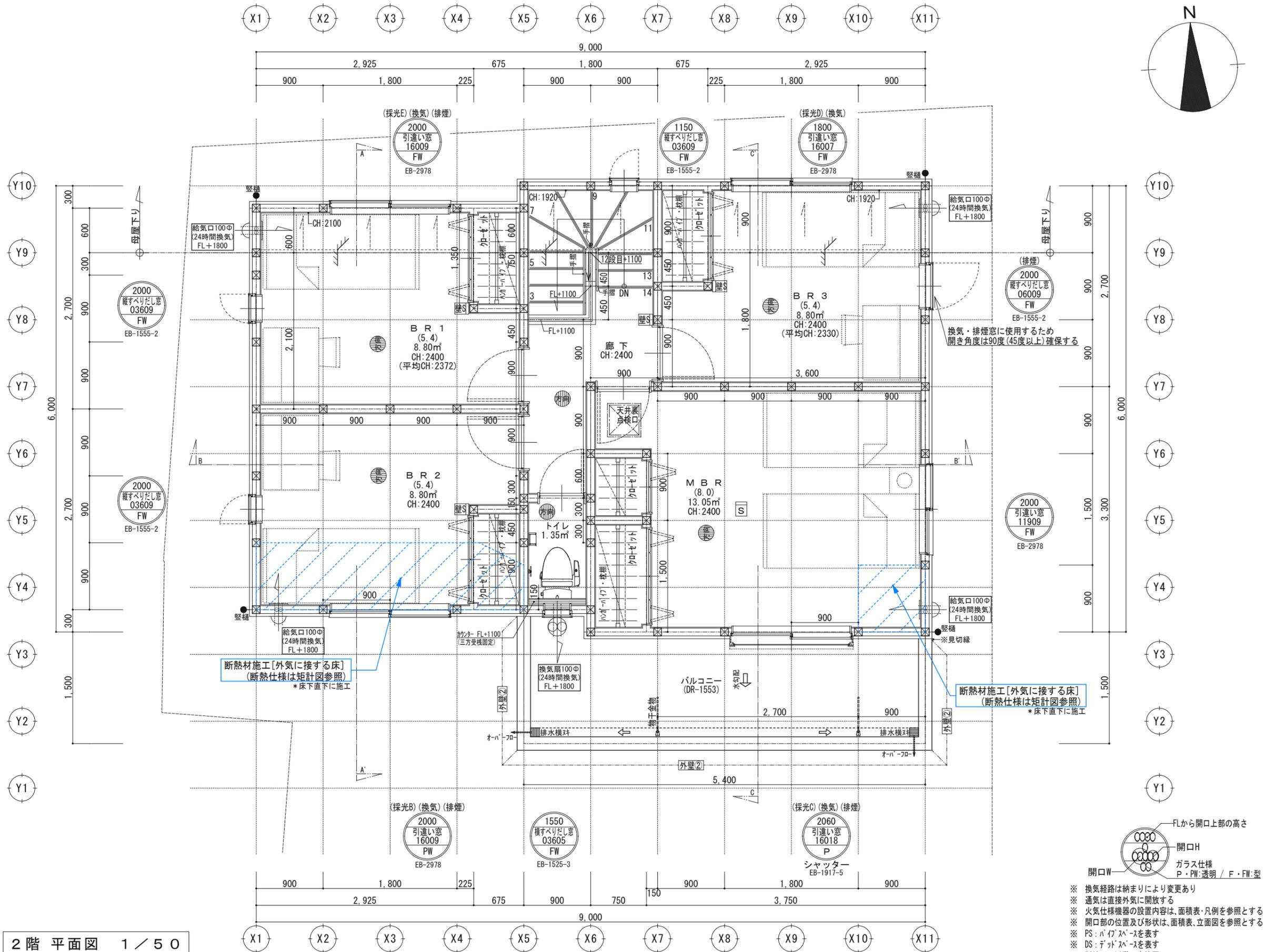
BR 3 平均天井算定計算

- $(1.920+2.400) \times 0.900 \div 2 = 1.944$
 $1.944 \times 2.925 = 5.686$
- $2.400 \times 2.925 \times 1.800 = 12.636$
- $2.400 \times 0.675 \times 1.350 = 2.187$

1~3) 計=20.509
20.509 / 8.80 = 2.330
∴ 平均CH 2.330



凡例
外壁② 外壁サイディング②



FLから開口上部の高さ
開口H
開口W
ガラス仕様
P・PW:透明 / F・FW:型

- ※ 換気経路は納まりにより変更あり
- ※ 通気は直接外気に開放する
- ※ 火気仕様機器の設置内容は、面積表・凡例を参照とする
- ※ 開口部の位置及び形状は、面積表、立面図を参照とする
- ※ PS: バイパスをを表す
- ※ DS: テッドスペースを表す
- ※ 延焼7分は2階の全範囲

採光補正係数A
 $9,185/4,595 \times 6 - 1.4 = 10.593$
 $\therefore 10.59$ 倍(3.0)

採光補正係数B
 $9,185/1,205 \times 6 - 1.4 = 44.334$
 $\therefore 44.33$ 倍(3.0)

採光補正係数C
 $8,735/1,595 \times 6 - 1.4 = 31.458$
 $\therefore 31.45$ 倍(3.0)

採光補正係数D
 $685/720 \times 6 - 1.4 = 4.308$
 $\therefore 4.30$ 倍(3.0)

採光補正係数E
 $710/900 \times 6 - 1.4 = 3.333$
 $\therefore 3.33$ 倍(3.0)

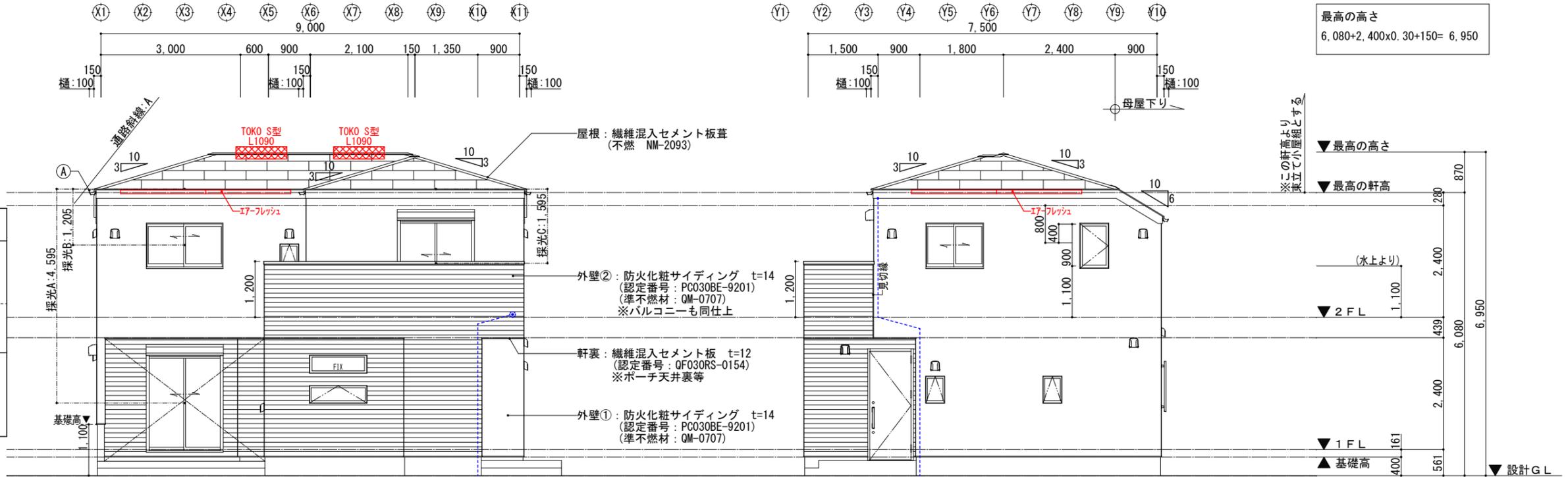
《 小屋裏換気計算 》

【2階】
 必要吸気面積 $51.57\text{m}^2 \times 1/900 = 0.057\text{m}^2$
 有効吸気面積 $1.829 \times 0.009\text{m}^2 \times 4 = 0.065\text{m}^2$
 $\therefore 0\text{K}$

必要排気面積 $51.57\text{m}^2 \times 1/1600 = 0.0322\text{m}^2$
 有効排気面積 $0.017\text{m}^2 \times 2\text{本} = 0.0340\text{m}^2$
 $\therefore \text{S型換気[1P]}: 2\text{個以上}$

■軒先給気金物(TOKO)
 エアフレッシュ: $0.009\text{m}^2/\text{本}$ [1本: 1.829m]

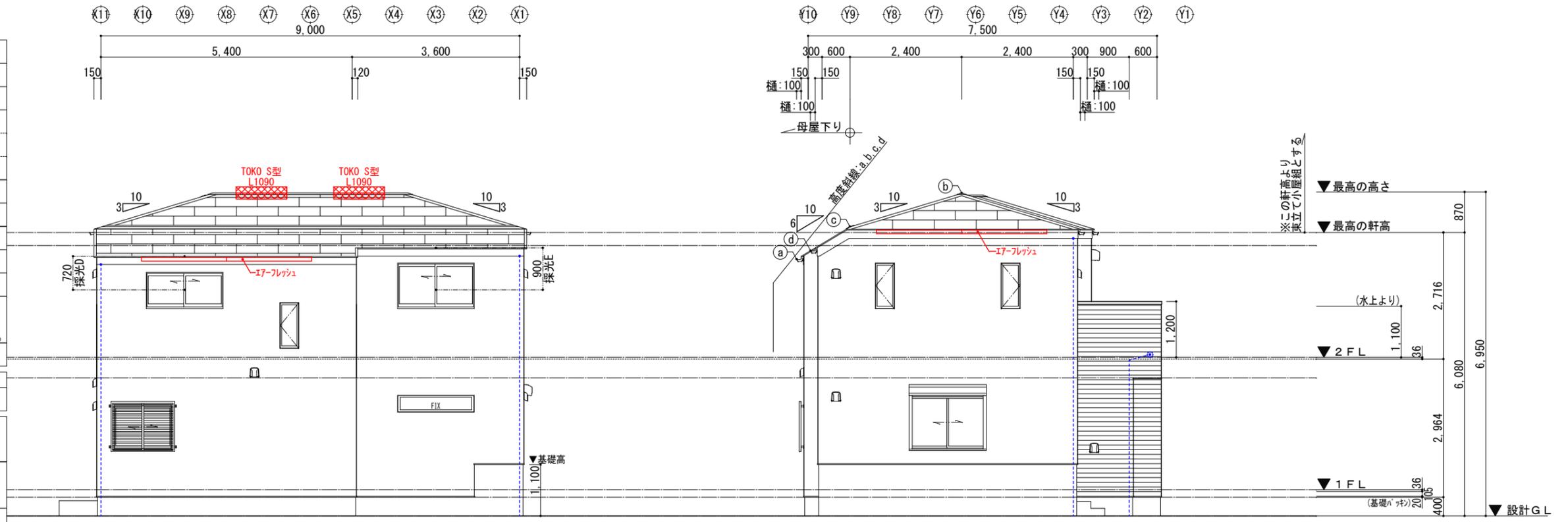
■換気棟(TOKO)
 雨押え[1P]: 0.006m^2
 片流れ[1P]: 0.0078m^2 S型換気棟[1P]: 0.017m^2



南側立面図 1/100

東側立面図 1/100

サッシ	外部サッシ色: ブラック		
	LIXIL 防火戸 A4F		
	防火戸・非防火		
玄関ドア	LIXIL ジェス2防火戸 M26型		
	色: トリノバイン		
	ハンドル: A1A(色:シルキーマットブラック)		
屋根	コロニアルクアッド 色: ネオブラック		
軒裏天井	色: ブラック		
土台水切	サッシ同色		
笠木	サッシ同色		
オーバーハング	サッシ同色		
縦樋	※場所により外壁色に合わせて付け換える(迷う場合相談)		
ポーチ床	色: グレー		
凡例			
雨樋	-----		
種別	メーカー	貼り方向	商品
凡例			色
外壁1	ニチハ	横	14mmサイディング リオピスタ
			リノMGカラー
外壁2	ニチハ	横	14mmサイディング リーブルスクエア
			シルノMGカラーラフィット



北側立面図 1/100

西側立面図 1/100



〒177-0034
 東京都練馬区富士見台2-18-16 2F
 一級建築士第312554号 佐野 雅哉

設計年月日
確定図面
 令和6年10月29日

承認
 雅

設計
 工事名称
スマイルファミリー 練馬区貫井2丁目 新築工事
 図面名称
立面図
 縮尺
 1/100

防火構造

断熱性能等級 4 ・ 一次エネルギー消費量等級 4 仕様

※断熱材及び開口部の詳細仕様は参考品です。
断熱性能等級 4 に適合するものであれば変更可能です。

開口部(窓・ドア)仕様

- 窓：防火戸 A 4 F (防火設備認定品) LIXIL
熱貫流率：3.49W/(㎡・K) ・ 日射取得率：0.51
仕様：金属製遮断構造建具、日射取得型
Low-E複層ガラス(クリア)空気層7~14mm
- 玄関ドア：ジェスタ2防火戸(防火設備認定品) K 4
熱貫流率：2.91W/(㎡・K) ・ 日射取得率：0.10
仕様：金属製フラッシュ構造、ドア内ガラスあり
Low-E複層ガラス、中空層の厚みは問わない

繊維混入セメント板葺 (7) 5.2mm (NM-2093) 雪止め付

アスファルトルーフィング JIS A6005適合品
(重ね長さ：上下100mm以上、左右200mm以上)

野地板 (7) 12mm

垂木：45×45@450

樋先：250

10

屋根勾配：〇〇

ZUねり金物ST

▼軒桁天端
軒ゼロ軒先換気金物
エアフレッシュ【10K0】

280

野縁30×40@300

天井：石膏ボード (7) 9.5mm

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 10K (7) 100mm 熱抵抗値2.3
旭ファイバーグラス【アクリアマット】
防湿フィルムを室内側に留め付ける

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 10K (7) 100mm 熱抵抗値2.3
旭ファイバーグラス【アクリアマット】
防湿フィルムを室内側に留め付ける

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

天井断熱：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

壁：石膏ボード (7) 12.5mm
ビニールクロス貼 (QM-9405同等品)

断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 155mm 熱抵抗値4.1
旭ファイバーグラス【アクリアマット】

バルコニー：
FRP防水 (DR-1553)
珪酸カルシウム板 (NM-8578) (7) 12
構造用合板
・ バルコニー 勾配1/50以上
・ 防水立上がり 250mm以上
・ 開口部下端、防水層150mm以上

軒裏：繊維混入セメント板 (7) 12mm
(OF030RS-0154)
※バルコニー・ポーチ庇軒裏
軒裏換気金物：(KF030RS-0157)

★サイディング施工 (通気工法)
外壁：防火認定サイディング
(PC030BE-9201)
縦胴縁45×15
透湿防水シート
構造用合板 (7) 9mm

※GLより1mまで防蟻防蟻処理
基礎スベーサー (7) 20mm
1m当り75cm²以上の有効面積
▼1F. L

▼基礎天端

※専用配管(排水、給水、給湯、ガス管)は以下の
いずれかの方法を用いること
・ 基礎立上り部を貫通して抜く
・ 埋込スリーブ管による施工

洗面脱衣室
・ 壁：ビニールクロス
・ 床：耐水合板(構造用合板特類)

■給湯器
エコジョーズ24号フルオート「リンナイ」
モード熱効率：91.5% 同等品以上

換気設備仕様
■トイレ換気扇 (24時間換気)
パイプ用ファン
型名：V-08PFL07 / 三菱電機
■浴室換気扇 (24時間換気)
常時換気機能付換気乾燥暖房機
型名：UFD-112A / LIXIL

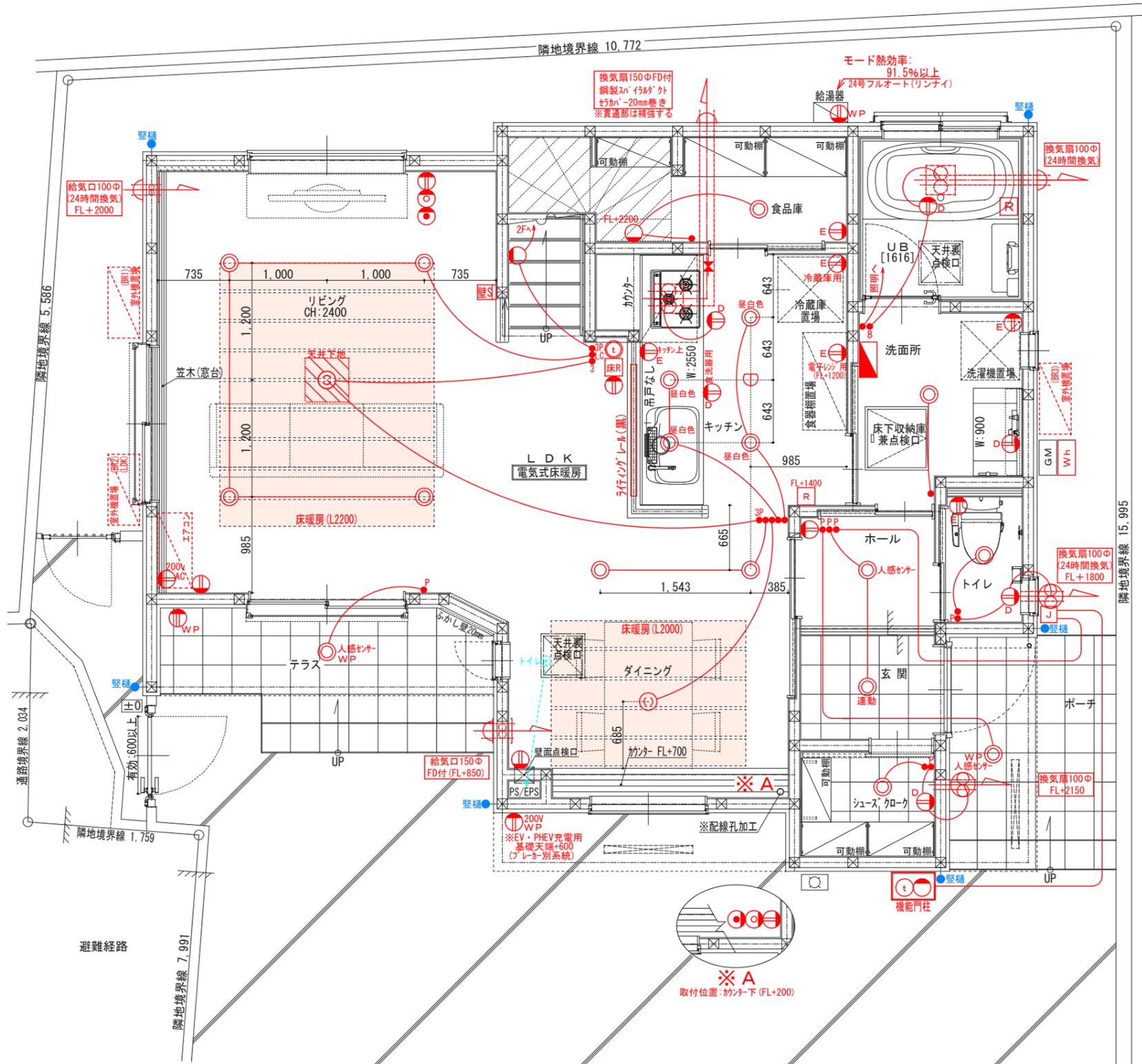
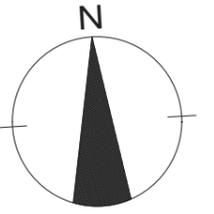
矩計図 S : 1 / 30

■水栓・浴槽
キッチン：水優先吐水機能(節湯C1)
手元止水機能(節湯A1)
洗面化粧台：水優先吐水機能(節湯C1)
ユニットバス：高断熱浴槽
シャワー水栓：小水流吐水機能(節湯B1)
手元止水機能(節湯A1)

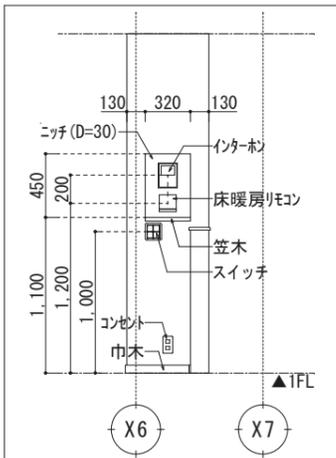
<外気に接する床>
断熱材：高性能グラスウール 20K (7) 120mm
熱抵抗値3.4 [製品名：アクリアUボードNTα]
(室内側に防湿層を設ける)

<外気に接する天井(ルーフバルコニー)部分>
断熱材：高性能グラスウール 14K (7) 90+90mm
熱抵抗値4.8 [製品名：アクリアネクスト]
(断熱材の室内側に防湿層を設ける)

<基礎壁断熱材> ※浴室内部・高基礎部分
外気に接する部分：押出法ポリスチレンフォーム3種bA (7) 50mm
熱抵抗値1.7 [カネライトフォーム]
その他の部分：押出法ポリスチレンフォーム3種bA (7) 20mm
熱抵抗値0.7 [カネライトフォーム]



■LDK電気式床暖房敷設率
 主たる居室床面積: 41.35㎡
 (LDKに通ずる階段、廊下も面積を含む)
 0.275×2.000×5本=2.750
 0.275×2.200×9本=5.445
 合計: 8.195㎡
 8.195 ÷ 41.35㎡ = 0.198186215
 ∴敷設率 19.8%



展開図① [インターホンニッチ]

1階電気設備図 1/50

※軒天のダウンライトは枠色を軒天井の色に合わせる

■電気記号・凡例

2口壁付コンセント	給気口
アース付コンセント	壁付換気扇 (壁付)
直結接続コンセント	換気扇 (天井付)
A/C用コンセント	給湯器リモコン
200V A/C用コンセント	床暖房リモコン
防雨型コンセント	分電盤
16φCD管	スポットライト
テレビ用アウトレット	ブラケットライト
ダウンライト	煙感知器 (天井付)
引掛シーリング	煙感知器 (壁付)
ベースライト (天井付)	定温式スポット型感知器
電気メーター	調光器付スイッチ
ジャンクションBOX	位置表示スイッチ
スイッチ	確認表示スイッチ
三路スイッチ	浴室乾燥機スイッチ
四路スイッチ	インターホン親機
防雨形スイッチ	インターホン子機
EV・PHEV充電用 盗電防止スイッチ	

■その他記号・凡例

GM	ガスメーター	水栓 (蛇口のみ)
WM	水量計	散水栓
給湯器	給湯器	汚水排水管
ガスロック	ガスロック	軒裏換気口

【特記】 ※図面上で指定がない場合
 コンセント・TV・16φ: FL+200 (芯まで)
 スイッチ・洗濯機: FL+1,200 (芯まで)
 I7コン用コンセント: 天井-500程度 (芯まで)
 冷蔵庫用コンセント: FL+1,900 (芯まで)
 電子レンジ用コンセント: FL+1,200 (芯まで)
 インターホン (室内)・床暖房リモコン
 ・給湯器リモコン: FL+1,400 (芯まで)
 24時間給気口: FL+2000 (芯まで)
 キッチン給気口: FL+500 (芯まで)
 煙感知器 (天井付): 壁または梁から600mm以上離す
 煙感知器 (壁付): 天井から150mm~500mmの間
 照明器具はすべてLEDとする

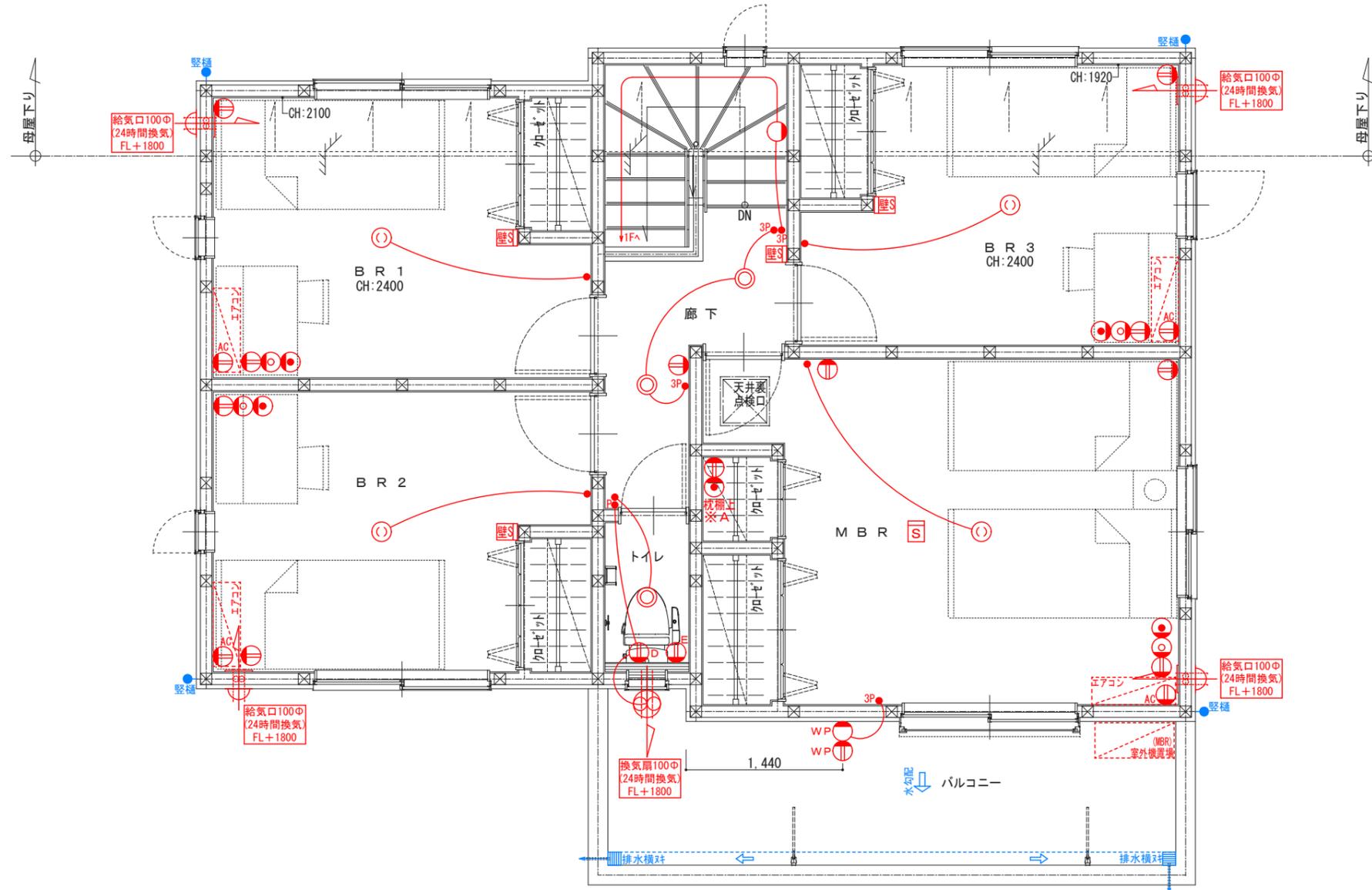
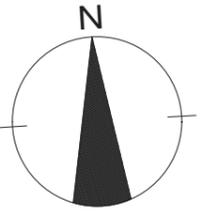


〒177-0034
 東京都練馬区富士見台2-18-16 2F
 一級建築士第312554号 佐野 雅哉

設計年月日
確定図面
 令和6年10月29日

承認
 雅

工事名称
 スマイルファミリー 練馬区貫井2丁目 新築工事
 図面名称
 電気設備図 (1)
 縮尺
 1/50
 No.



2階電気設備図 1 / 50



■電気記号・凡例

	2口壁付コンセント		給気口
	アース付コンセント		壁付換気扇(壁付)
	直接続コンセント		換気扇(天井付)
	A/C用コンセント		給湯器リモコン
	200V A/C用コンセント		床暖房リモコン
	防雨型コンセント		分電盤
	16φCD管		スポットライト
	テレビ用アウトレット		ブラケットライト
	ダウンライト		煙感知器(天井付)
	引掛シーリング		煙感知器(壁付)
	ベースライト(天井付)		定温式スポット型感知器
	電気メーター		調光器付スイッチ
	ジャンクションBOX		位置表示スイッチ
	スイッチ		確認表示スイッチ
	三路スイッチ		浴室乾燥機スイッチ
	四路スイッチ		インターホン親機
	防雨形スイッチ		インターホン子機
	EV・PHEV充電用 差電防止スイッチ		

■その他記号・凡例

	GM ガスメーター		水栓(蛇口のみ)
	WM 水量計		散水栓
	給湯器		汚水排水管
	ガスソケット		軒裏換気口

【特記】 ※図面上で指定がない場合

コンセント・T.V・16φ: FL+200(芯まで)

スイッチ・洗濯機: FL+1,200(芯まで)

I7コン用コンセント: 天井-500程度(芯まで)

冷蔵庫用コンセント: FL+1,900(芯まで)

電子レンジ用コンセント: FL+1,200(芯まで)

インターホン(室内)・床暖房リモコン
・給湯器リモコン: FL+1,400(芯まで)

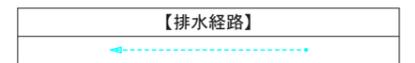
24時間給気口: FL+2000(芯まで)

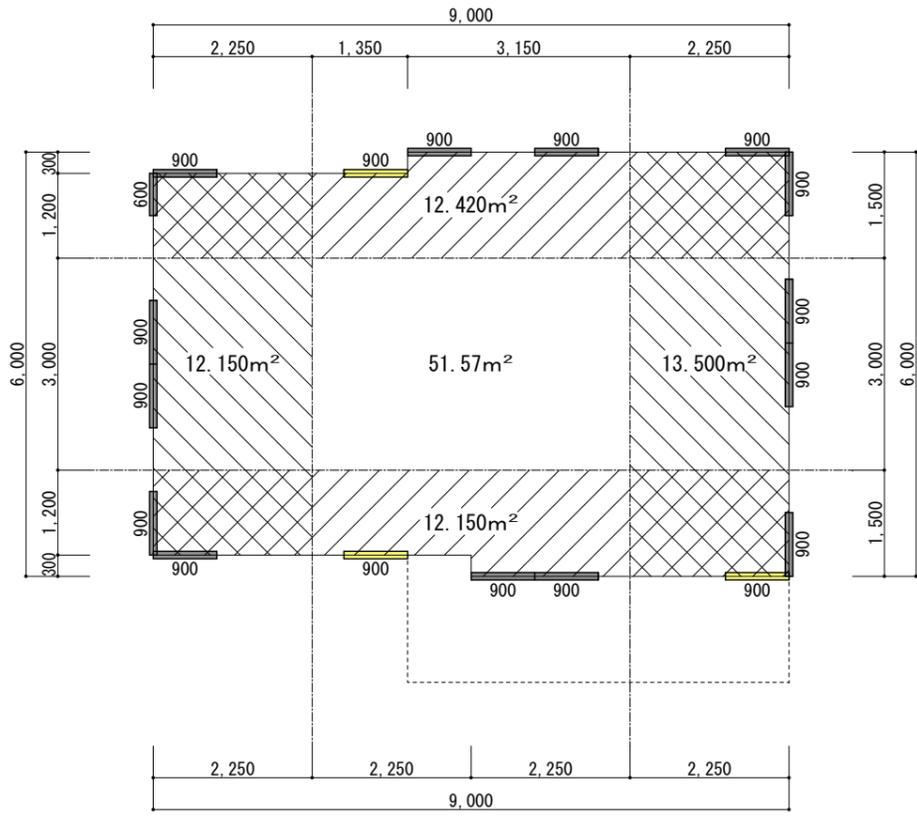
キッチン給気口: FL+500(芯まで)

煙感知器(天井付): 壁または梁から600mm以上離す

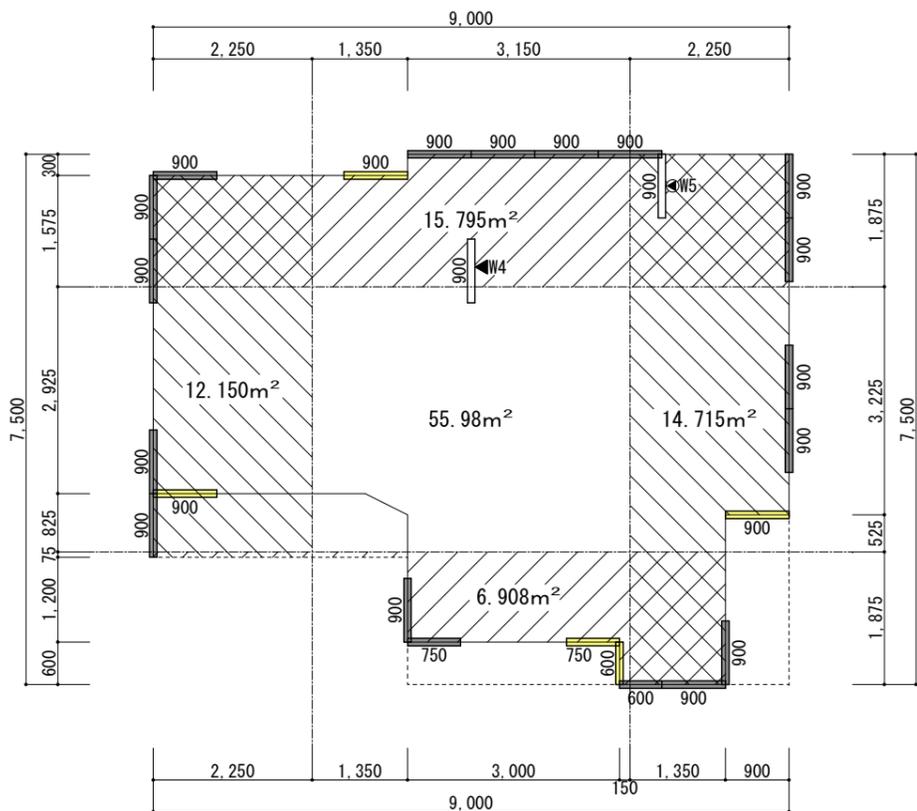
煙感知器(壁付): 天井から150mm~500mmの間

照明器具はすべてLEDとする

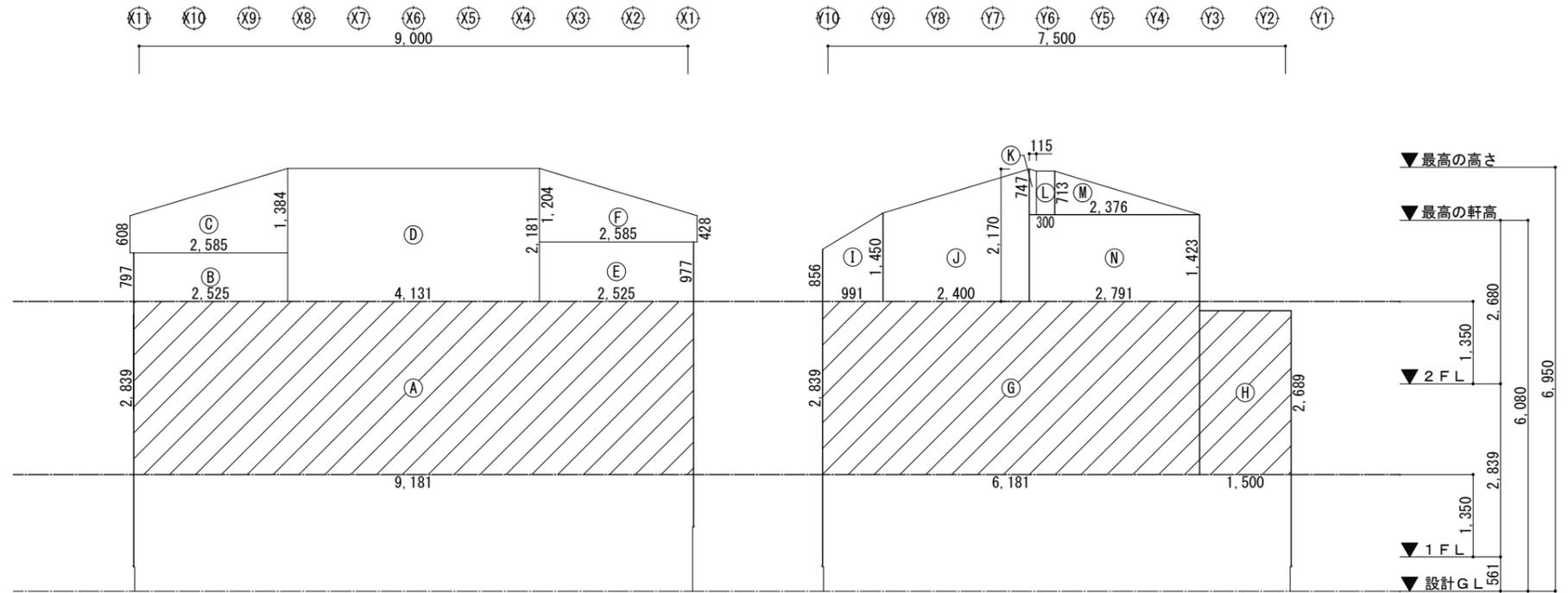




2階求積図 1:100



1階求積図 1:100



X面立面図 1:100

Y面立面図 1:100

◆ 1階Y方向見付面積
 A: $9.181 \times 2.839 = 26.064$
 B: $2.525 \times 0.797 = 2.012$
 C: $(0.608 + 1.384) \times 2.585 \div 2 = 2.574$
 D: $4.131 \times 2.181 = 9.009$
 E: $2.525 \times 0.977 = 2.466$
 F: $(1.204 + 0.428) \times 2.585 \div 2 = 2.109$
 A~F合計) 44.234

◆ 2階Y方向見付面積
 B: $2.525 \times 0.797 = 2.012$
 C: $(0.608 + 1.384) \times 2.585 \div 2 = 2.574$
 D: $4.131 \times 2.181 = 9.009$
 E: $2.525 \times 0.977 = 2.466$
 F: $(1.204 + 0.428) \times 2.585 \div 2 = 2.109$
 B~F合計) 18.170

◆ 1階X方向見付面積
 G: $6.181 \times 2.839 = 17.547$
 H: $1.500 \times 2.689 = 4.033$
 I: $(0.856 + 1.450) \times 0.991 \div 2 = 1.142$
 J: $(1.450 + 2.170) \times 2.400 \div 2 = 4.344$
 K: $(0.747 + 0.713) \times 0.115 \div 2 = 0.083$
 L: $0.300 \times 0.713 = 0.213$
 M: $2.376 \times 0.713 \div 2 = 0.847$
 N: $2.791 \times 1.423 = 3.971$
 G~N合計) 32.180

◆ 2階X方向見付面積
 I: $(0.856 + 1.450) \times 0.991 \div 2 = 1.142$
 J: $(1.450 + 2.170) \times 2.400 \div 2 = 4.344$
 K: $(0.747 + 0.713) \times 0.115 \div 2 = 0.083$
 L: $0.300 \times 0.713 = 0.213$
 M: $2.376 \times 0.713 \div 2 = 0.847$
 N: $2.791 \times 1.423 = 3.971$
 I~N合計) 10.600

※算定表では小数点第三位を四捨五入

内 壁	——	大壁・大壁床勝ち
外 壁	——	真壁・真壁床勝ち

※耐力壁の取付は「建省告示第1100号」に基づく施工方法とする

特記無し	W1	外 壁：構造用合板 t=9 (使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm)
▲	W2	外 壁：構造用合板 t=9 (使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) + 筋違い 45×90
●	W4	内 壁：筋違い 45×90
▲	W5	外 壁：構造用合板 t=9 (使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) + 筋違い45×90 (タスキ掛)
★	W6	【真壁床勝ち】 構造用合板 t=9 (使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) 片面貼り
★	W7	【外壁:大壁】 構造用合板 t=9 (使用釘:N50、釘ピッチ:外周・中通@150mm) 両面貼り 【内壁:真壁床勝ち】

屋根 石綿スレート葺き

S=シングル W=ダブル

凡例			凡例			
外壁	W1	特記なき	構造用合板9mmS 2.5倍	内壁	W4 ▲	木材45×90S 2.0倍
	W2	▲	構造用合板9mm+木材45×90S 4.5倍		W5 ⊙	木材45×90W 4.0倍
	W3	⊙	構造用合板9mm+木材45×90W 5.0倍		W6 ★	構造用合板9mm(片面貼り) 2.5倍
(※) 大壁床勝ち、真壁、真壁床勝ちも同じく2.5倍 真壁・真壁床勝ちの場合: 受材30mm×40mm以上、N75@300以下			W7 ⊙★ 構造用合板9mm(両面貼り) 5.0倍			

床面積(地震力)に対する必要軸組長				
階	方向	床面積	乗ずる数値	必要軸組長
2	X	51.57	0.150	7.736
	Y			
1	X	55.98	0.290	16.234
	Y			
見付面積(風圧力)に対する必要軸組長				
階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要軸組長
2	X	10.60	0.500	5.300
	Y	18.17		9.085
1	X	32.18		16.090
	Y	44.23		22.117

①小屋裏収納面積の加算
1.4/2.1×0.00 =

2階床面	PH床面	①	合計
51.57	0	0	51.57
1階床面	PH床面	①	合計
55.98	0	0	55.98

階	方向	記号	倍率×	長さ×	個所=	軸組長	合計
2	X	W1	2.5	0.900	10	22.500	22.500
		—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	
2	Y	W1	2.5	0.900	7	15.750	17.250
		W1	2.5	0.600	1	1.500	
		—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	
1	X	W1	2.5	0.900	9	20.250	25.500
		W1	2.5	0.750	2	3.750	
		W1	2.5	0.600	1	1.500	
		—	—	—	—	—	
1	Y	W1	2.5	0.900	10	22.500	29.400
		W1	2.5	0.600	1	1.500	
		W4	2.0	0.900	1	1.800	
		W5	4.0	0.900	1	3.600	
		—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	

階	方向	存在軸組長	判定	(必要軸組長×1.25)	必要軸組長	
					床面積(地震力)	見付面積(風圧力)
2	X	22.500	> OK	9.669	7.736	5.300
	Y	17.250	> OK	11.356	7.736	9.085
1	X	25.500	> OK	20.293	16.234	16.090
	Y	29.400	> OK	27.646	16.234	22.117

階	方向	床面積 m ²	a 物置等 m ²	合計床面積 m ²	乗ずる数値	必要軸組長	
2	X	上	12.420	—	12.420	0.150	1.863
		下	12.150	—	12.150	0.150	1.823
	Y	左	12.150	—	12.150	0.150	1.823
		右	13.500	—	13.500	0.150	2.025
1	X	上	15.795	—	15.795	0.290	4.581
		下	6.908	—	6.908	0.290	2.003
	Y	左	12.150	—	12.150	0.290	3.524
		右	14.715	—	14.715	0.290	4.267

階	方向	記号	倍率×	長さ×	個所=	軸組長	合計		
2	X	上	2.5	0.900	5	11.250	11.250		
		—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—			
	X	下	W1	2.5	0.900	5	11.250	11.250	
		—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—			
2	Y	左	2.5	0.900	3	6.750	8.250		
		W1	2.5	0.600	1	1.500			
	Y	右	W1	2.5	0.900	4	9.000	9.000	
		—	—	—	—	—			
1	X	上	2.5	0.900	6	13.500	13.500		
		—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—			
	X	下	W1	2.5	0.900	1	2.250	7.500	
		W1	2.5	0.750	2	3.750			
		W1	2.5	0.600	1	1.500			
	1	Y	左	W1	2.5	0.900	4	9.000	9.000
			—	—	—	—	—		
			—	—	—	—	—		
		右	W1	2.5	0.900	5	11.250	14.850	
W5	4.0	0.900	1	3.600					
—	—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—	—				

階	方向	側端部分必要軸組長	雅スタイル値B (必要軸組長×1.25)	側端部分存在軸組長	壁量充足率(>1)	壁率比(≥0.5)	判定		
2	X	上	1.863	2.329	<	11.250	6.039	0.98	OK
		下	1.823	2.278	<	11.250	6.173		OK
	Y	左	1.823	2.278	<	8.250	4.527	0.98	OK
		右	2.025	2.531	<	9.000	4.444		OK
1	X	上	4.581	5.726	<	13.500	2.947	0.79	OK
		下	2.003	2.504	<	7.500	3.744		OK
	Y	左	3.524	4.404	<	9.000	2.554	0.73	OK
		右	4.267	5.334	<	14.850	3.480		OK

軸組計算表

現場名 スマイルファミリー 練馬区貫井3丁目 新築工事

1級建築士 建築大臣登録 第

312554 号

佐野雅哉